



港区立高松中学校 学校だより<第11号>

平成29年3月2日 校長 鈿持 利行

創立1949年(昭和24年)

<高松中生のあたりまえ> 推進校

港区高輪1-16-25

読書は心の糧

校長 鈿持 利行

春休みは、新しい学校や新しい学年へ進級する準備の時期です。この時期、自分の生き方を確かめる意味でも、人物史や名作といわれる本をゆっくり読むことを提案したいと思います。一人で読むことも大切ですが、できたら家族で好きな本を一冊、読み合ってみたらどうでしょうか。

コミュニケーションの少ない時代といわれています。家族団らん時に一冊の本を読み合い、読んだ後に感想などを話し合うことができれば最高の幸せです。

「食べ物は体の糧、読書は心の糧」という名言があります。体を丈夫に育てるのは食べ物、人間らしい心を育てるのは本ということです。

島崎藤村の文章に「読まれないで並べてある書物は墓場である。眠っている本を読むと、その本は目を覚まして読み手を遠い外国や昔の時代、美しい森や湖に囲まれた世界、小鳥のさえずる田園に誘い出してくれる。読書で、時代を超えた夢の世界で遊ぶことも可能である。驚いたり、悲しんだり、怒ったり、と心の葛藤もある。人の動きに胸を打たれることもある。」よい本をじっくりと読むことで世界は広がります。私が中学時代に読んだ本で、共感し、心の迷いが解け、進路にいかすことのできた本を二冊紹介します。

『君たちはどう生きるか』（吉野源三郎著）は、自分の生き方についてヒントを与えてくれ、『家なき子』（エクトル・マロ著）は不幸や貧しさにめげず力強く生きていく姿から、生きることの大切さを学びました。読書は、自分の生き方を方向付ける役割を果たしてくれます。

本校では、落ち着いた雰囲気の中で一日の学校生活が始められるように、この一年間「朝読書」に取り組んできました。保護者の皆様、この機会にお子様にもこの一年、どんな本を読んできたかを聞いていただき、子どもが心に残った本を読んで、その感想などを共有されてみてはどうでしょうか。

さて、今年度もあと数週間で修了式を迎えます。3年生は3月17日で卒業です。今は、一年間あるいは3年生は三年間の締めくくりの時期です。ご家庭では、1・2年生はこの一年間に頑張ってきたことや成長が見られる点などを、人と比べることなく褒め評価してあげることで、3年生は三年間を振り返り、その努力の積み重ねや成長が、新しい進路の決定につながったことに自信をもつことで、それぞれ次年度が意欲をもってスタートできるよう励ましていただければと思います。

保護者・地域の皆様には、今年度も本校教育活動へのご支援・ご協力をいただきありがとうございました。来年度もさらに充実した教育活動を展開すべく、教職員一同準備を進めているところです。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

高松中学校 学校公開・学習展示週間

三学期は学校公開週間と学習展示週間を併せて行いました。多くの保護者の方にご来校いただき、授業の様子と1年間の学習の成果を見ていただきました。ご家庭での話題にさせていただけるとよいのではないのでしょうか。

【一年移動教室】



【二年夏季学園繭細工】



【家庭科釣りゲーム】



【美術科通学路五十三次】



【美術科篆刻による自画像】



【国語科書初め】



【二年職場体験新聞】



【鉄道部ジオラマと新聞】



【美術部お菓子の遊園地】



日本の伝統行事です
今年も恒例の「席書会」「百人一首大会」を行いました。一年生にとっては新鮮な体験だったようですが、静寂な空間の中、集中して取り組む事の心地良さを感じていたようです。



席書会



百人一首大会

【あいさつ運動】 2月13日(月)～17日(金)

今年度第3回のあいさつ運動が行われました。保護者、地域の方の協力の下、寒さに負けない元気な挨拶が交わされました。ご協力ありがとうございます。



【セーフティ教室】 2月18日(土)

今年度は文教委員会の協力で、講師の方をお招きし、専門家の立場から「安全にSNSを活用する方法」を教えてくださいました。生徒の部、保護者の部に分け、それぞれの視点からの話をしてもらえた事は大変有意義でした。

